KDDI Smart Mobile Safety Manager
Safety Manager Recovery
マニュアル

最終更新日　2025 年 4 月 17 日

Document ver.1.5

（Web サイト ver.9.21.2）

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2019/4/25	1.0		新規作成
2019/12/5	1.1	全体	規約に従い、表記揺れなど統一
2022/6/12	1.3	3.2 エージェントの再インストールを行う場合	『Android キッティングマニュアル』参照先変更
2022/11/20	1.4	はじめに	全改修
		1.1 Safety Manager Recovery とは	従来版エージェントのサポート終了の注意追加
2023/8/6	1.5	はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
［　］	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「　」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『　』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
〈　〉	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

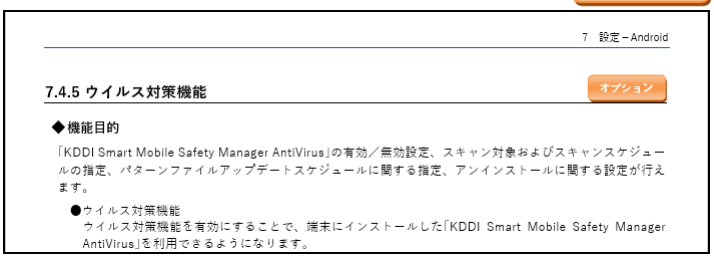
不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

☞ https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに オプション（オプションマーク）を表示しています。


7　設定－Android

7.4.5 ウイルス対策機能　オプション

◆機能目的

「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」の有効／無効設定、スキャン対象およびスキャンスケジュールの指定、パターンファイルアップデートスケジュールに関する指定、アンインストールに関する設定が行えます。

●ウイルス対策機能
ウイルス対策機能を有効にすることで、端末にインストールした「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」を利用できるようになります。

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が［管理者］のユーザーを対象としています。［管理者］以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザーにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
  IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Safety Manager Recovery について 6

2 Safety Manager Recovery をインストール..... 8
2.1 App Manager からインストール..... 9
2.2 QR コードを読み込んでインストール..... 9
2.3 ダウンロード URL からインストール 9

3 Safety Manager Recovery の起動..... 10
3.1 エージェントを同期可能な状態へ復帰させる場合 11
3.2 エージェントの再インストールを行う場合..... 13

1 Safety Manager Recovery について

1.1 Safety Manager Recovery とは

注意

●従来版エージェントのサポートは終了したので、ストア版エージェントを利用してください。

従来版エージェントが Google Play プロテクトに検知されるなど、何らかの理由によって同期不可状態やアンインストールされた際に復旧作業を支援するためのアプリを提供します。

従来版エージェントがアンインストールされても Safety Manager Recovery を起動することで、再インストールを行う URL を端末利用者へ簡単にご案内することができます。

Play プロテクトに検知され、従来版エージェントが停止した状態で Safety Manager Recovery を起動すると、従来版エージェントを起動し同期可能状態へ復帰します。

＋browser Safety Manager は、Safety Manager Recovery と同様に、従来版エージェントの復旧作業を支援するための機能が搭載されています。＋browser Safety Manager の詳細は、以下を参照してください。

『Android クライアント リファレンスマニュアル』の「関連アプリの使用方法」－「＋browser Safety Manager」

2 Safety Manager Recovery をインストール

Safety Manager Recovery を App Manager、QR コードまたは URL からインストールします。

2.1 App Manager からインストール

Safety Manager Recovery が「App Manager」でインストールできる状態になると、通知が表示されます。「App Manager」の詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

『Android クライアント リファレンスマニュアル』の「エージェントの使用方法」－「App Manager を使用する（従来版エージェント）」

2.2 QR コードを読み込んでインストール

端末に内蔵されている QR コード読み取り用のアプリを起動し、以下の Safety Manager Recovery のダウンロード用 QR コードを読み込んでください。

2.3 ダウンロード URL からインストール

ブラウザーを起動し、以下ダウンロードサイトの URL を直接入力します。

https://smsm-get.com/Recovery.apk

3 Safety Manager Recovery の起動

従来版エージェントが Google Play プロテクトに検知されるなど、何らかの理由によって同期不可状態やアンインストールされた際に、Safety Manager Recovery を起動します。

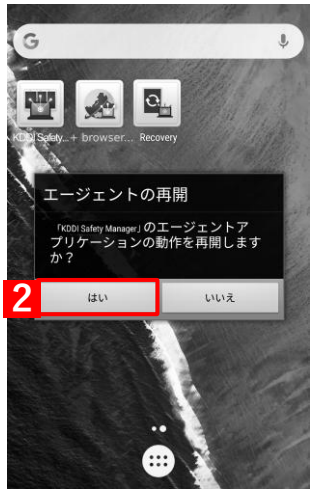
3.1 エージェントを同期可能な状態へ復帰させる場合

エージェントを同期可能な状態にしたい場合は、Safety Manager Recovery を起動します。

【1】［Recovery］または［+browser Safety Manager］をタップします。

＋browser Safety Manager は、マルウェア誤検知が発生したとき、Safety Manager Recovery と同様の動作を行います。

【2】［はい］をタップします。



【3】［同期］をタップします。

【4】同期しています。しばらくお待ちください。

⇒同期が完了すると、復帰完了となります。

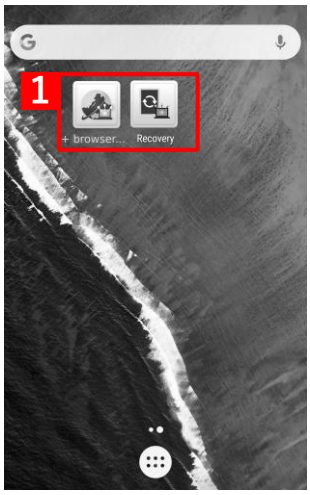
3.2 エージェントの再インストールを行う場合

エージェントを再インストールしたい場合は、Safety Manager Recovery を起動します。

利用しているブラウザーにより手順が異なる場合がありますので、ご了承ください。

【1】［Recovery］または［+browser Safety Manager］をタップします。

+browser Safety Manager は、マルウェア誤検知が発生したとき、Safety Manager Recovery と同様の動作を行います。



【2】［はい］をタップします。

端末の状態によっては、利用するブラウザーの選択画面が表示されることがあります。

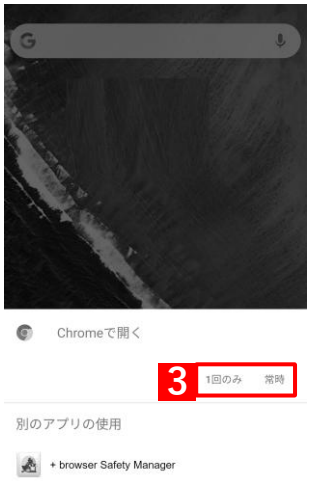
注意

有効なブラウザーがない場合

以下のような警告画面が表示されます。管理者にお問い合わせのうえ、端末にブラウザーを設定してください。

手順【3】～【6】は、Safety Manager Recovery 上で起動したときの手順と画面を示しています。

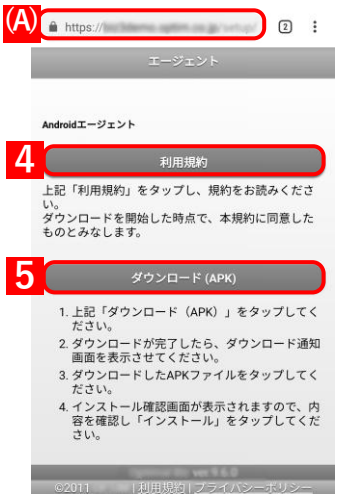
【3】「Chrome で開く」の［1 回のみ］または［常時］をタップします。



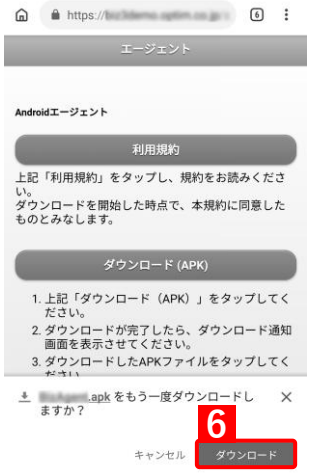
【4】［利用規約］をタップし、利用規約を確認します。

【5】［ダウンロード(APK)］をタップします。

エージェントのダウンロードサイトの URL は、（A）に自動で入力されています。



【6】［ダウンロード］をタップします。



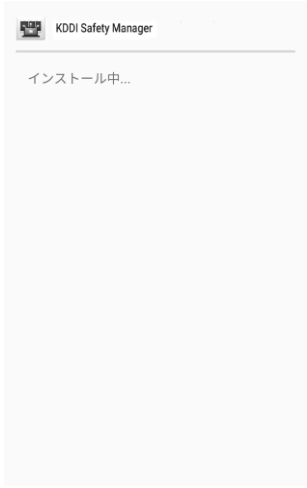
【7】画面を上から下へスライドし、ダウンロード通知画面を表示させます。

Android 3.x の端末は画面右下の通知をタップしてください。

【8】ダウンロードしたエージェントをタップします。

【9】インストール確認画面が表示されますので、内容を確認し、［インストール］をタップします。

【10】インストールしています。しばらくお待ちください。



【11】インストールが完了したら、［開く］をタップします。

【12】メニュー画面を表示して、ライセンス認証を行います。

ライセンス認証の詳細は以下を参照してください。

『Android キッティングマニュアル』の「その他のキッティング方法」－「ライセンス認証を行う」